

第 37 回えいが部「チョコレートドーナツ」(原題: Any Day Now) (2014)

1979 年のカリフォルニア。歌手を夢見ながら、ショーパブでパフォーマーとして日銭を稼ぎ暮らすルディは、客として訪れた検事局のポールと心を通わせ合い、交際を始める。そんな折、ルディはアパートの隣の部屋に住むダウン症の少年マルコが、危険薬物を所持し逮捕された母親のために、施設へと隔離された事実を知る。繰り返されるマルコの脱走に心を痛めたルディは、ポールを説き伏せてマルコを引き取りともに暮らそうと提案する。同性愛の恋人同士であることを伏せ、法的手続きによりマルコの監護者となった二人は、本当の両親のようにマルコに愛情を注ぎ、三人で幸せな日々を送る。だが周りの反応は冷淡であり、彼らをパーティに招いたポールの上司との衝突で事態は一気に悪化し、ふたりはマルコの養育者と認められず裁判沙汰となる。弁護士の奮闘もむなしく、ルディとポールはマルコとの関係を引き裂かれる。そしてふたたびの脱走を試みたマルコが放浪のあげく悲惨な運命をたどったことをルディは知る。歌手として認められたルディは、愛する者たちとのつながりを引き裂かれた怒りと悲しみとをマイクに叩きつけてゆく。

監督 トラヴィス・ファイン

出演 アラン・カミング／ルディ・ドナテロ

- ・007 ゴールデンアイ GoldenEye ボリス・グリシェンコ 1995
- ・Emma エマ Emma エルトン氏 1996
- ・アイズ ワイド シャット Eyes Wide Shut デスク・クラーク 1999
- ・X-MEN2 X2 カート・ワグナー / ナイトクロウラー 2003
- ・マスク 2 Son of the Mask ロキ 2003
- ・リプリー 暴かれた贗作 Ripley Under Ground ジェフ・コンスタント 2003
- ・バーレスク Burlesque アレクシス 2010
- ・テンペスト The Tempest セバスチャン 2010
- ・スマーフ The Smurfs ガッツィー 2010

ギャレット・ディラハント／ポール・フラガー

- ・ノーカントリー No Country for Old Men ウェンデル 2007
- ・ザ・ロード The Road ギャングのメンバー 2009
- ・ウィンターズ・ボーン Winter's Bone バスキン保安官 2010
- ・ホイールマン ～逃亡者～ Wheelman クレイ 2017
- ・ロスト・マネー 偽りの報酬 Widows バッシュ 2018

ドン・フランクリン／ロニー・ワシントン

- ・ファスト・フォワード *Fast Forward* マイケル・スタフォード 1984
- ・ケビン・ベーコンのハリウッドに挑戦!! *The Big Picture* トッド・マーヴィン 1989

フランシス・フィッシャー／マイヤーソン

- ・ピンク・キャデラック *Pink Cadillac* ディナ 1989
- ・L.A.ストーリー/恋が降る街 *L.A. Story* ジューン 1991
- ・許されざる者 *Unforgiven* ストロベリー・アリス 1992
- ・タイタニック *Titanic* ルース・デウィット・ブカター 1997
- ・60秒カンズ *Gone in Sixty Seconds* ジュニー 2000
- ・告発のとき *In the Valley of Elah* エヴィ 2007
- ・リンカーン弁護士 *The Lincoln Lawyer* メアリー・ウィンザー 2011
- ・黄金のアデーレ 名画の帰還 *Woman in Gold* バーバラ・シェーンベルク 2015

グレッグ・ヘンリー／ランバート

- ・序曲・13日の金曜日 *Just Before Dawn* (1981)
- ・スカーフェイス *Scarface* (1983) クレジットなし
- ・ボディ・ダブル *Body Double* (1984)
- ・レイジング・ケイン *Raising Cain* (1992)
- ・スター・トレック 叛乱 *Star Trek: Insurrection* (1998)
- ・ペイバック *Payback* (1999)
- ・ユナイテッド 93 *United 93* (2006)
- ・ブラック・ダリア *The Black Dahlia* (2006)

原題『*Any Day Now*』は「いつの日か」という意味の言葉。「今にでもやってくるであろういつか」というニュアンスの表現です。ちなみに、この原題は作中でルディが歌うボブ・ディランの名曲、『*I Shall Be Released*』の歌詞「*Any day now, any day now, I shall be released.* (いつの日か、いつの日にか解き放たれるだろう)」から引用されています。